

### 事業の評価書

池田市長殿

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会  
代表者名 中村 彰男



#### 紀

事業の名称	安心・安全な地域づくり備品整備事業
事業実施前の状況	①最近ひったくり等の犯罪が、多発している。 ②最近男女学生が、制服姿のまま夜遅くまで、公園等で見受けられる。 ③この事業を実施するための備品等が揃っていなかった。
事業実施後の状況	備品等の整備として、①電気湯沸しペット(50)、②LEDストロングライト、 ③延長コードの購入、④池田市地域分権 石橋コミュニティと刺繍したアポロ キャップ(35個)を購入。など一定の備品整備は整った。
事業の効果	昨年度に揃えた備品に加え、今年度分で一応備品整備は整ったと思う。 石橋駅前の野玉坂会館を詰所とし、石橋校区地域全域を2つのグループ により特別警戒の見回りを行なうことで、地域住民にも周知することができた。
今後の課題等	整備事業としては、本年度でとりあえず終了するが、地域の見回り、歳末特別 警戒は、今後とも続けていく必要がある。 また学生の行動等については、各学校にも情報提供するとともに、改善に向け て協議も必要と考える。

<様式4号>

平成23年5月31日

## 事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 中村 彰男



紀


事業の名称	コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	地域コミュニティ推進協議会の活動内容等を広く地域住民にPRするため、広報誌等を発行する。
事業実施後の状況	22年度は、3回の発行配布を予定していたが、安全部会が作成した「石橋自主防災」の冊子の作成配布のみとなった。
事業の効果	コミュニティ紙を発行できなかったことは大いに反省。ただ石橋自主防災組織の設立及び規約を地域に冊子として配布したことが、せめてもの効果。
今後の課題等	23年度より、当協議会のコミュニティ紙等の発行は、より充実した内容で実施して行きたいと考えている。

<様式4号>

平成23年 3月 23日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 石橋地区コミュニティ協議会  
代表者名 会長 中村彰男 

記

事業の名称	掲示板の設置
事業実施前の状況	既設分 H. 20年度7台 H. 21年度7台 当地区には他に、社会福祉協議会で9ヶ所、自治会で5ヶ所、池田市と大阪府の団地の掲示板が2ヶ所設置されています。
事業実施後の状況	今年22年度に次の3ヶ所に設置しました。 ①、石橋公園東側入口付近（石橋中学校正門前） ②、井口堂会館国道176号交差点付近 ③、鉢塚3丁目第2公園内（井口堂1丁目13付近、荘園口交番前付近） 3年間で計17台を設置しました。 石橋公園内の掲示板は今回社会福祉協議会の掲示板が老朽化で取りはずしましたので協議会の掲示ぶんも今後掲示していきます。
事業の効果	掲示物の役割を果たしつつあると思います。今年度は次のような内容を掲示しました。 ○ 石橋小学校新聞 ○石橋中学校新聞 ○老人大学いけてるキャンパスの案内 ○石橋地区スポーツ振興会の行事の案内 ○コミュニティーの行事の案内 ○池田警察署の防犯の案内 ○石橋自主防災会の立ち上げと会成立の案内ほか
今後の課題等	コミュニティーの広報新聞と池田市の広報とも合わせて相乗効果が出ればありがたいです。地域広報活動の拠点として活躍してくれると思います。3年間で17台が設置できました。自治会の掲示板が老朽化しているものもありその跡にも設置したいとも思います。あと地域のバランスをみて23～25年度の3年間で10台ぐらいの設置を目標としています。23年度は3台の予定です。

平成23年5月31日

事業の評価書

池田市長殿

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 中村 彰男



紀

事業の名称	AED管理事業
事業実施前の状況	昨年に配置されたAEDの維持管理を行い、早期の救命措置に備える。
事業実施後の状況	今回は、リコールのため、無料取替え
事業の効果	まだ一度も活用されていないが、住民からはAEDが配置されていることで、安心感を得ている。
今後の課題等	当地域では1台しか配置(井口堂北会館)していないが、今後は他の公共施設等にも配置していく考えで計画している。

<様式4号>

平成22年 11月 30日

事業の評価書

池田市長様

石橋地域コミュニティ推進協議会  
協議会名  
代表者名 中村 彰男

記

事業の名称	ガーデニング教室の開講
事業実施前の状況	初年度の平成20年に5月と11月の2回実施し非常に親しみやすかったとのことで好評でした。昨年は別企画の文化展を行いましたので今回は2年ぶりとなりました。待ち望まれていた開催でした。
事業実施後の状況	今年は5月に「楽しいハーブの育て方」、10月に「種から育てる秋まきの草花」のタイトルで実施いたしました。土作りからはじまり今回も身近なことから勉強をし、楽しいガーデニング教室でした。参加者の方より多くの質問も飛び出し充実した時間を過ごしました。楽しい雰囲気の中に終了しました。
事業の効果	花に関することは各種の企画の中でも一番親しまれるものだと思いますが楽しく、明るい気分の中で開講できて皆さんの親しみの輪ができ、地域でのお付き合いもこれを通じて出来ていけるのではと感じています。継続的に実施できればと思います。
今後の課題等	今回の講師は元園芸高校の先生でした。非常に好評でした。続けていければとおもいます。今回の2回は5月が35名、10月が34名の参加でした。教室の人数としては一番良いぐらいと感じますが、もう少し参加者がふえればと思います。

### 事業の評価書

池田市長殿

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 中村 彰男



紀

事業の名称	公園整備事業
事業実施前の状況	校区の中心に位置する石橋公園は、地域のイベント会場、幼児・児童の遊び場、高齢者の憩いの場として利用度の高い公園であるが、遊具の老朽化、広場の不備など地域住民のニーズに合った公園とは言えない。
事業実施後の状況	新しい遊具類、高齢者向き健康遊具、公園外周遊歩道の改修、広場(グラウンド)の改修、更には耐震性貯水槽の新設など数多くの改修が図れた。
事業の効果	生まれ変わった「石橋公園」として地域住民のみなさまから喜ばれている。今回の改修工事は、市と協働の形で行い、その効果は大きい。
今後の課題等	今後とも、公園を利用している母親、高齢者などからの意見、要望等を聞きつつ更なる整備に向け努力して行きたい。

事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 中村 彰男



紀

事業の名称	道路安全対策事業
事業実施前の状況	通称「池高道」は、道幅が約6mと狭い上、自動車、自転車等の利用が頻繁で、歩行者も多く、非常に危険な道路。グリーンベルト化は過去2年の事業でも住民からの評価は高く、あと70mを残すのみとなっている。
事業実施後の状況	3カ年計画で実施した、この道路安全対策事業も、全区間完成した。歩行者、運転者などのマナーが、グリーンベルトに細心の注意を払っているように見られる。
事業の効果	歩道のグリーンベルト化は、車歩道の区別の無い狭い道路では効果大で、通行人、運転者などの交通モラルの向上が図れた。
今後の課題等	3年にわたり実施した事業であるが、初年度に行った区域は、ガムのポイ捨てや砂による目詰まり等で、かなり汚れが目立つ箇所もある。 今後とも市担当課と相談しつつ、必要な対策を考えていきたい。

<様式4号>

平成23年5月31日

## 事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 中村 彰男



紀

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	夜間の事故や犯罪を未然に防ぐため、深夜に地域を見回り、暗いと思われる箇所への照度アップなどを実施しているが、まだまだ手を入れなければならない、箇所がある。
事業実施後の状況	22年度実施した照度アップ箇所は、4箇所。
事業の効果	安全・安心なまちづくりのための防犯、安全対策の増強が図れた。
今後の課題等	校区内の重点箇所を優先して整備しているが、今後とも地域全域を見回りつつ年次計画を立てて整備していく必要がある。



事業の評価書

池田市長 殿

協議会名 石橋地域コミュニティ推進協議会

代表者名 中村 彰男



記

事業の名称	教育問題等講演会開催事業
事業実施前の状況	身近な教育問題、子育て問題等のミニサークル的な講演会を開催することにより、地域コミュニティの輪を広げる。 22年度は、①「子育てとPTA活動」②「外国人の子育てと暮らし方」をテーマに開催した。
事業実施後の状況	①の講師はマレーシア出身のモナガ氏の「マレーシアより日本に来ての感想・子育て等」の講演のあと、4グループに分かれてのディスカッションと発表。 ②の講師はスペイン出身のミゲル アンヘル氏の「外国に暮して」の講演と馬代香織氏(フラメンコ舞踏の先生)の「子どもに教える」をテーマによる講演。 講演のあと、アンヘル氏のフラメンコギター生演奏で、生徒の子ども達(8名)を含めた舞踏を披露。 ①②それぞれの参加者は、地域では初めての外国人による講演やフラメンコ舞踏の披露だったので、驚きと感嘆な気持ちで満足されたと思う。 参加者は、①②とも35名
事業の効果	お互いに地域と子育て、男の子・女の子それぞれの問題点等を再考し、今後の子育て、PTA活動の参考として有意義であった。また子どもと向かい合うの大切なことなど非常に参考になった。
今後の課題等	今後、こどもの育て方や子どもと向かい合う姿勢、緊張、緩和など多くの課題や問題にどう活用していくか。